「ひきこもりに関する地域社会に向けた広報事業」の概要

1. 事業の目的

ひきこもり状態にある方は、社会とのつながりに関する悩みや自己表現の困難さ等から、生きづらさや自己喪失感、自己否定感を抱いている場合も少なくなく、事情や思いは一人ひとり様々である。そのような中、ひきこもりは本人や家族だけの問題というような誤解や偏見によって、ひきこもり状態にある方やその家族（以下「ひきこもり状態にある方等」という。）が孤立してしまうことがないように、地域社会においてひきこもりへの理解が高まることが重要となる。ひきこもりに関する地域社会に向けた広報事業は、このような状況を踏まえて、地域社会に対してひきこもり状態にある方等の経験や思いを発信することで、地域社会におけるひきこもりに関する理解を高め、ひきこもり状態にある方等が孤立せず、相談しやすい環境づくりを促進することを目的とする。

2. 事業の概要

ひきこもりに関する地域社会に向けたシンポジウムを企画・開催するとともに、ポータルサイト等の多様な手法によりひきこもり状態にある方等に対する誤解や偏見をなくすことを目指し、社会全体の気運醸成に繋がる広報を行う。また、地域住民に「自分たちにもできることがある」という認識を持っていただけるよう、地域の中で活動の促進に繋がるキャラバンを開催する。

3. 事業の内容

ひきこもりへの理解が不足している方や関心がない方を含めた地域社会の方々に対し、ひきこもり状態にある方等の経験や思いを発信し、ひきこもりへの理解を高めてもらえるよう、「ひきこもり VOICE STATION」として以下の取組を実施する。

○ひきこもりに関する地域社会に向けたシンポジウムの企画・開催

○ひきこもり支援に関するキャラバンの開催

○ひきこもりに関する広報の実施

- ・「ひきこもり VOICE STATION」ポータルサイトの運営
- ・ひきこもりへの理解が不足している方や関心がない方にもひきこもり状態にある方等の経験や思いが伝わるよう創意工夫がなされた周知・広報